

IBC2015 で、放送局内ネットワークの IP 化を実現する IP ビデオルータシステムを展示します

現在、世界の放送業界は、次世代の超高精細映像である 4K/8K 放送の実用化に向けて進んでいます。日本では、2020 年の東京オリンピックまでに 8K 超高精細映像の放送を計画しており、それを実現するために、放送局は各種設備の高度化を進めています。その中で 4K/8K 放送を効率的に行うためには、放送局内の制作ワークフローにおける映像伝送ネットワークの IP 化が不可欠だと言われています。株式会社メディアグローバルリンクスは、放送局内ネットワークの IP 化のカギとなる IP ビデオルータを中心としたシステムを、9 月 11 日~15 日にオランダのアムステルダムで開催される IBC2015 の株式会社メディアグローバルリンクスのブースにて展示します。(Hall 1. C31)

今回の展示では、マルチメディア IP 伝送装置 MD8000 が 4K 映像を IP 化して伝送し、IP ビデオルータ MDX シリーズが効率的、安定的な切り替えを行います。また、新製品 MD8600 および MDP3010 により、IP 信号のまま映像の圧縮/伸長を行います。さらに、それらを一元的にコントロールするアプリケーションソフトウェアが全体を制御することで、エンド・ツー・エンドの IP ソリューションの実務運用を可能にします。

なお、IP ビデオルータ MDX シリーズおよび MDP3010 には、NHK と株式会社メディアグローバルリンクスの共同開発に基づく技術が使われており、その一部は NHK と株式会社メディアグローバルリンクスにより共同で特許出願されています。

株式会社メディアグローバルリンクスは、まず日本国内の放送局への IP ビデオルータシステムの導入を進めながら、同時に海外の放送局への販売も拡大することを見込んでいます。

■本件についてのお問い合わせ先：
株式会社メディアグローバルリンクス
TEL 044-522-1830
E-mail ir@medialinks.co.jp